

■ 衝突軽減ブレーキ（CMBS）

- 衝突軽減ブレーキ（CMBS）は、自車が前方の車両のほぼ真後ろから追突するおそれがあるときや、対向車に正面から衝突するおそれがあるときおよび歩行者に衝突するおそれがあるときに、運転者のブレーキ操作を支援し、衝突を回避したり衝撃を軽減するシステムです。
- 自車との速度差が約5km/h以上ある車両および歩行者に対して衝突のおそれがある時に、CMBSが作動します。
- 対向車および歩行者に対しては、自車が約80km/h以下で走行中に衝突のおそれがある時に、CMBSが作動します。
- さらに、約30km/h～80km/hで走行中に対向車に対してCMBSが作動する状況では、ステアリング振動による警告も作動します。
- CMBSが作動し、停車した後または衝突のおそれなくなったと判断した後に自動ブレーキは解除されます。
- 衝突軽減ブレーキ（CMBS）は、あらゆる状況で衝突を回避できるシステムではありません。レーダーやカメラは天候や速度、路面状況によって検知しにくいことがあります。
- 取扱説明書に従い使用しないと、衝突などの事故につながり、死亡または重大な障害にいたるおそれがあります。
- 周囲の状況を確認し、十分な車間距離を保ち安全運転を行ってください。

■ 車線逸脱警報

車線逸脱警報は路外逸脱抑制機能がONされている時にフロントガラス上部に設置されたカメラによって左右の白線または黄色線を検知し、方向指示器（ウインカー）を使用せずに白線（黄色線）を逸脱したことを判断したとき、作動します。

作動時はマルチインフォメーションディスプレイにより警告を行うと共に、ステアリングを短時間振動させることで運転手の操作を促します

本システムは車速が約60km/hから100km/hで直線または緩やかなカーブの道路を走行しているときに作動しますが、道路状況、車両状態及び天候状態等によってはシステムが作動しない場合があります。

なおカスタマイズ機能で路外逸脱抑制システム設定を「操舵アシストなし 警報のみ」に設定した場合は警告機能のみ作動しますが、それ以外の「アシストタイミング 標準」や「アシストタイミング 遅め」の設定では警告に加えて車線からの逸脱を防ぐ方向にハンドル操作を支援します。

また路外逸脱抑制機能がOFFされていても、LKAS（車線維持支援システム）がONされていれば、車速等その動作条件にあてはまる範囲で本警告機能が作動します

■ リアワイドカメラ

- 後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。
- リアワイドカメラシステムのカメ​​ラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- リアワイドカメラのレンズは常にきれいにし、ふさがれることがないようにしてください。